

平成 30 年（2018 年）2 月 16 日
 危機管理部消防課
 （課長）花岡 徹（担当）田中 達也
 電 話：026-235-7407（直通）
 026-232-0111（代表）内線 5212
 F A X：026-233-4332
 E-mail：shobo@pref.nagano.lg.jp

平成 30 年（2018 年）2 月 16 日
 消防防災航空センター
 （所長）滝沢 重人（担当）水崎 厚史
 電 話：0263-85-5512（直通）
 F A X：0263-85-5513
 E-mail：bosai@pref.nagano.lg.jp

県消防防災ヘリコプターによる訓練再開について

1. 計画の策定、研修等 借上機体の納入前（1月～2月）

◇訓練計画

消防庁が示した消防・防災ヘリコプター訓練計画を参考とし、隊員に対する研修や民間操縦士が本県の地理・地形を習熟する飛行訓練、消火活動訓練等に係る計画を策定。

◇研 修 等：座学での研修に加え、航空センター内における各種訓練を実施。

時 期	研 修 ・ 訓 練 内 容
1 月 ～ 2 月	【研修】組織、法規、安全運航、地理・気象、県警ヘリ連携 等 【訓練】装具点検、安全帯着装、資機材取扱い、手信号確認 等

2. 消防ヘリによる訓練再開 借上機体の納入後（3月～4月）

◇訓練再開のスケジュール及び主な内容

時 期	訓 練 内 容
2 月末	借上機体の納入、操縦士・整備士の派遣
3 月当初 (10日程)	機体点検 機体の点検履歴及び装備品の確認 等 駐機訓練 機体搭乗・降機、誘導・手信号、消火タンク取付 等
3 月上旬～ (20日間 ～30日間)	飛行による訓練開始 地理・地形習熟訓練 訓練回数10回 ◇県内5ルートで地理・地形を習熟 <各ルート2回実施> ①北信方面、②北アルプス方面、③東信・中信・八ヶ岳方面、 ④中信・南信・南アルプス方面、⑤木曽・中央アルプス方面
4 月上旬～ (20日間 ～30日間)	消火活動訓練 訓練回数10回 ◇消火タンク・給水管取付、散水、自給水・中継送水 等 ①長野滑空場、②梓川ふるさと公園、③赤砂・諏訪湖 など
訓練終了後	活動再開

↑ 救急搬送訓練 ↓

3. 活動再開

上記の訓練を終了した後に安全運航の状況を確認し、活動を再開。※活動再開は、別途公表する。